

雨期である6月～11月にかけては基礎工事を避けることが望ましい。しかしながら、基礎工事が雨期にかかる場合は、雨水、排水設備も基礎支持地盤の養生等十分対策をたてることとする。

電気、電話、上水道の引き込みおよび下水道への接続等の工事は、現地のそれぞれの担当省であるセネガル国保健省と十分に協議、確認のうえ、適切な時期に工事を行うこととする。

工事期間中は、工程面や技術面で現場の進捗を合わせ、セネガル国の担当者と十分な意見交換を行い、工事を進めることが必要であり、また日本国内に十分な支援体制をつくることが重要である。

特に改修部門にあたっては、病院の機能を活かしながら、短い工期の上で移転→改修工事→移転のサイクルが繰り返される為、セネガル国・カオラック病院側の十分な理解と協力が不可欠である。

4-4-4 資機材調達計画

(1) 医療機材

医療機材の調達に関しては、「基本設計方針」で述べたように、第3国より調達することが維持管理面等で総合的に有利と判断される機材については、日本品と限定せず、積極的にこれを検討する。特に、本案件においては、地理的・文化的、さらに医療機材に対する医療従事者の習熟度という観点からみて、フランスを初めとするヨーロッパ製品が日本製より有利な点もある。

具体的には以下のような利点が上げられる。

- ・首都ダカールにヨーロッパ系の医療機器代理店が3店あるため、機器に関して技術的な打ち合わせが可能である。
- ・日本からは少なくとも2ヶ月以上の納期を要するが、ヨーロッパからは通常2週間前後で部品等を調達できる。
- ・輸送等に要する調達経費が日本から送るより割安である。
- ・フランス語の取扱い説明書が完備している。

一般に、医療機材案件において、最も厄介な問題は機器の保守と消耗品の定期的な補給に関してであり、これは時にプロジェクトの成否に拘わる重要な問題でもある。保守サービス網の確立していないセネガル国の医療事情を考えると、将来に涉って機材が円滑に運用されるためには、先ず使用者にとって最も少ない経費で、短時間で確実に維持管理可能な体制にしておくことが不可欠と判断される。

以下に第3国より調達した方が有利とみられる機器を上げる。これらの機器は何れも定期的な保守点検、または消耗品や部品の交換を要するものである。

表4-10 第3国調達計画機材

医療機材	
<ul style="list-style-type: none"> ・電気メス ・徐細動装置 ・pHメーター ・患者監視装置 ・純水製造装置 ・人口呼吸器 	<ul style="list-style-type: none"> ・心電計 (1.3ch) ・分光光度計 ・ヘモグロビンメーター ・麻酔器 ・無影灯 (天井、移動)

(2) 建設資材

建設資材の調達は、現地調達を基本方針とする。現場調達が困難なもの及び本プロジェクトの品質、レベルを確保するに必要なものは日本からの調達とする。

表5-1に資機材調達区分表を示す。

表4-11 資機材調達区分表

項目	日本	現地	備考
(建築資材)			
1. 骨材 (碎石、砂)		◎	
2. セメント		◎	
3. 鉄筋		◎	
4. コンクリートブロック		◎	
5. 防水剤		●	
6. 合板・木材		◎	
7. 床、壁用タイル		◎	
8. 木製建具		◎	
9. 金属製建具	○	●	特殊建具(鉛入)は現地しない
11. 建具金物 (マスターシステム)		●	
12. 塗料		◎	
13. 作業台・流し台		◎	
14. 木製棚・カウンター		◎	
15. フェンス・ゲート		◎	
16. コンクリート舗石		◎	

17. 型砕材		◎	
18. 工事用機械 (設備資材)		●	
1. PVC電線管		◎	
2. 電線・ケーブル類		●	
3. 盤 類		●	
4. 照明器具		●	
5. 変圧器		●	
6. ディーゼル発電機		●	
7. 配線器具		●	
8. 弱電機器	○		日本製品の方が高品質で定評がある。
9. PVC配管(衛生用)		◎	
10. 銅 管		●	
11. 衛生陶器類		●	
12. ポンプ類		●	
13. 焼却炉		◎	同 上
14. ウインドターラー		●	同 上
15. ファン類		●	同 上

◎：セネガル産又はフランス等欧州からの輸入品

●：フランス等欧州からの輸入品

(3) 資材輸送ルート

1) 医療材料

調達後の実務的な機材輸送においては、日本製品は原則的にコンテナ積みによる海上輸送とし、第3国製品は木枠梱包またはコンテナによる海上あるいは空輸とする。

2) 建設資材

セネガル国内の主要貿易港は、大西洋側のダカール港である。日本からセネガルへの海上輸送される資材は、大西洋側のダカール港に荷揚げされ、カオラック市へ陸送される。カオラック市への道路はアスファルト舗装されており、問題はない。

医療機材の輸送については、基本的にコンテナ積みによる海上輸送となる。

4-4-5 実施スケジュール

本計画は改修工事約 4,000㎡、新設工事 3,000㎡の規模をもつこと、またカオラックが首都から約 200km離れた遠隔地で建設業の規模も小さく、建設自体も活発でないこと等の条件より、全体工事期間を検討すると22ヶ月間を要する事から、本計画は2期分けの工事工程となる。

第1期は施設新築工事で交換公文の締結、コンサルタント契約、実施設計等を経て、工事が着工され完工までには11ヶ月間を要する。

工事内容：中央診療棟、小児科アネックスI、結核感染症棟の建設

第2期は第1期と同様の経緯を経て、工事が着工され完工までには11ヶ月間を要する。

工事内容：技術棟の建設、外科棟及び産婦人科棟の改修、外構・構内ユーティリティーの整備

医療材料の据付、取扱い説明は上記工事工程に合致して行われ、日常の診療活動に支障を来さない様計画する。

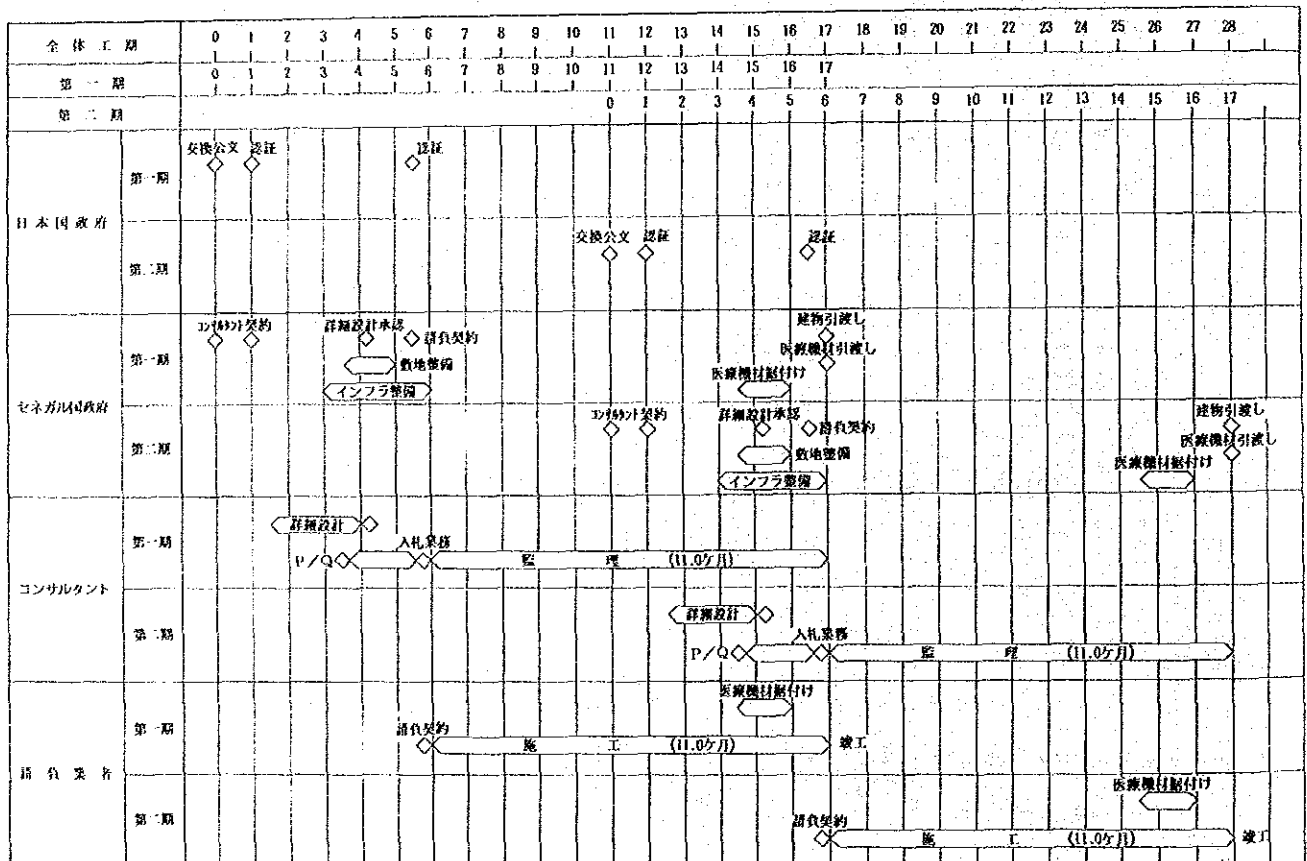


図4-5 実施スケジュール

4-4-6 概算事業費

(1) 積算条件

1) 算出時期

① セネガル国ポーション

資材単価は1989年2月に行われた現地調査時の収集資料による。但し、現地通貨の対米ドル為替レートはセネガル国中央銀行通達(固定レート1FF=50CAF)による。

② 日本国ポーション

1989年3月の刊行物及び積算資料。

2) 計算に用いた外貨交換レート(6ヶ年間の平均値)

US \$ 1.0 = 127.53円

1 円 = 0.41CFA

1 FF = 50CFA = 20.38円

3) 建設工事期間

第1期 11ヶ月

第2期 11ヶ月

4) その他

建設工事にかかわる資材及び建設機材へのセネガル国における輸入関税の免除及び建設にかかわる日本の法人・個人へのセネガル国における各種税の免除。

(2) セネガル国負担工事費

セネガル国がE/Nに基づいて負担すべき工事費は次の項目である。

- ① 敷地整地工事費
- ② 地耐力試験力
- ③ 外構工事費
- ④ エネルギー引込工事費
- ⑤ 家具及び備品工事費
- ⑥ 一部医療機材据付工事費
- ⑦ 移転費
- ⑧ 一部既存建屋の解体撤去工事

(3) 概算事業費

基本設計に基づく概算事業費16.07億円、その内訳は次の通りである。

1) 日本側負担費

日本側負担の事業費総額は約15.79億円と見込まれる。その内訳を下表に示す。

第1期工事 : 856,114,000円

第2期工事 : 722,422,000円

表4-12 概算事業費

(単価：円)

項 目	第1期工事	第2期工事	事業費合計
工事費 建物建設費	500,880,000	482,652,000	983,532,000
医療機材費	263,718,000	189,408,000	453,126,000
設計監理費	91,516,000	50,362,000	141,878,000
事業費合計	856,114,000	722,422,000	1,578,536,000

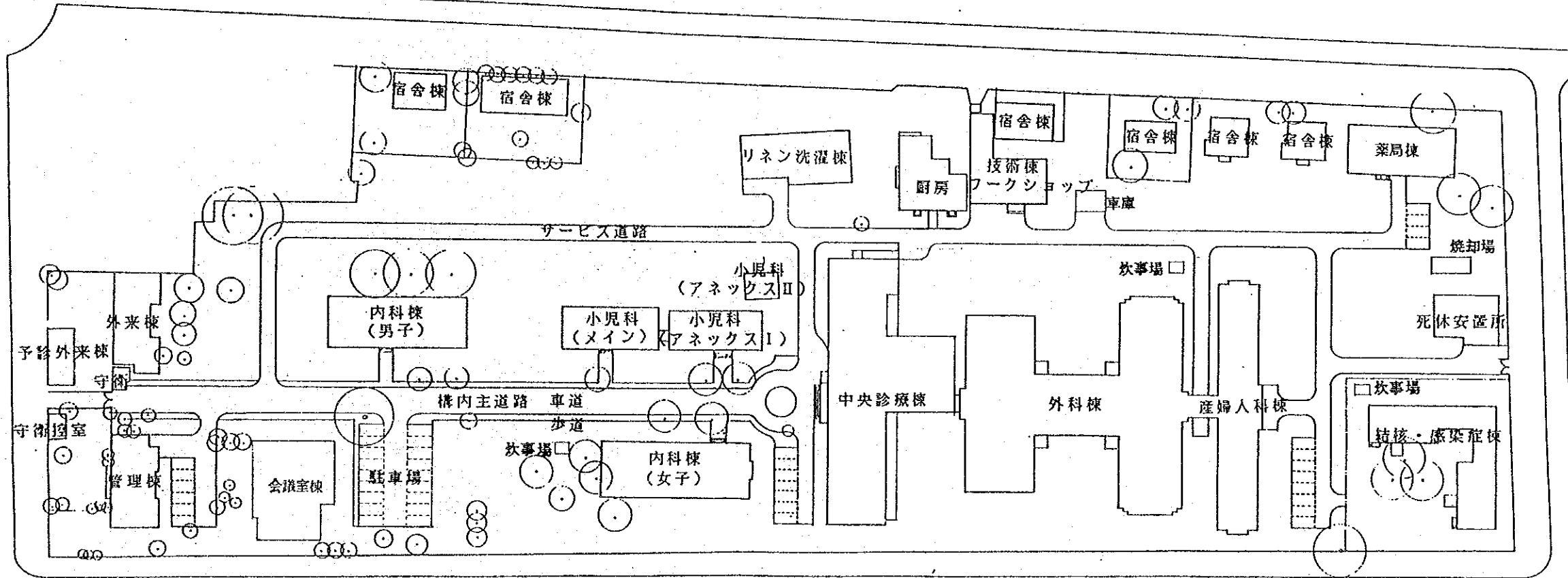
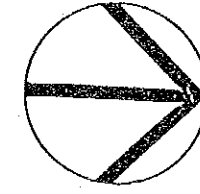
2) セネガル国側負担工事量

表4-13 セネガル国負担工事費

<単価：CFA >

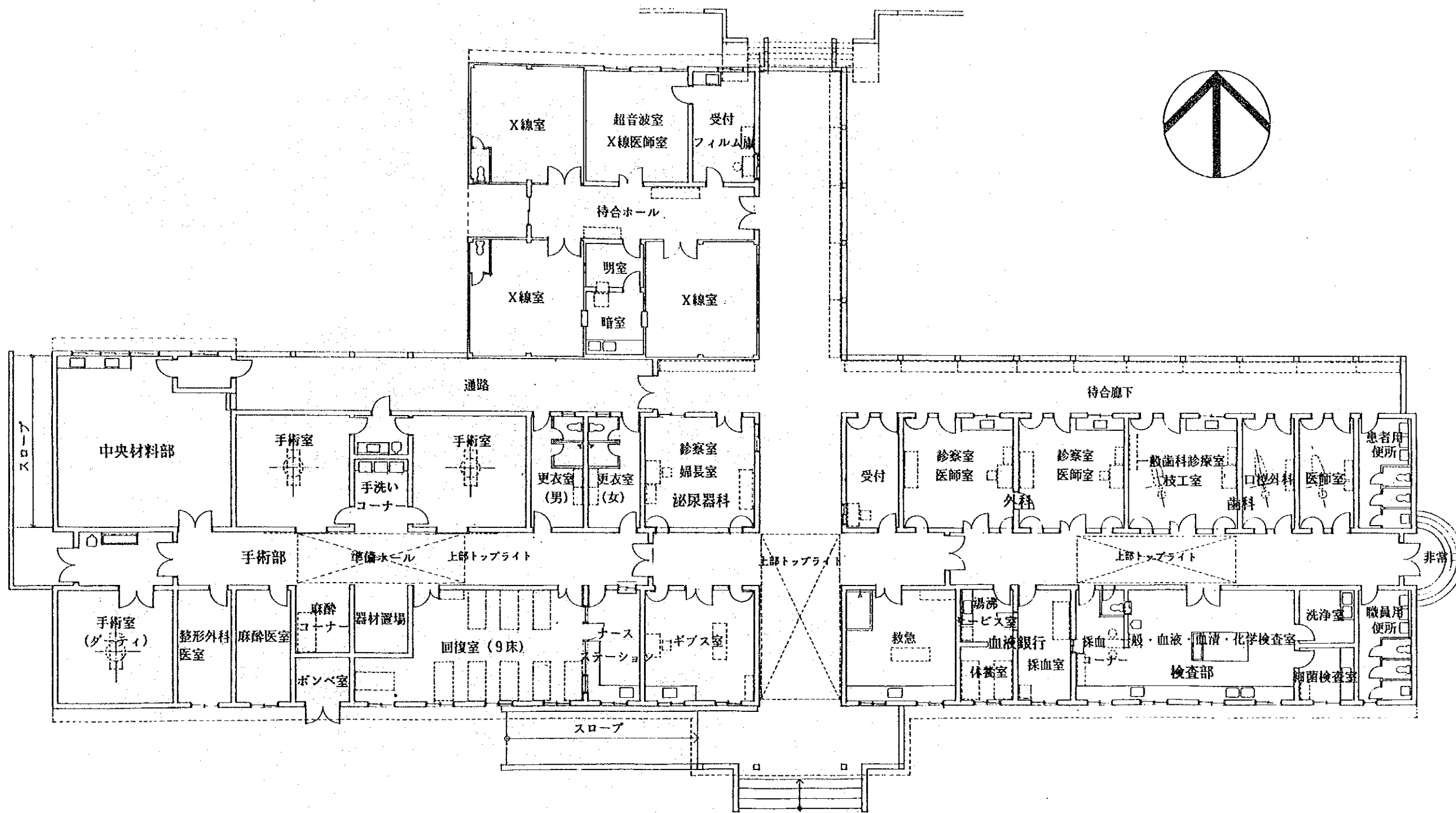
項 目	第1期工事	第2期工事	負担工事費合計
1. 敷地整地工事費	9,300,000	43,552,000	52,852,000
2. 地耐力試験費	900,000		900,000
3. 外構工事費		6,820,900	6,820,900
4. 工機引込み工事費	3,529,930		3,529,930
5. 家具及び備品工事費	510,000	888,500	1,398,500
6. 医療機材据付工事費	1,000,000	1,000,000	2,000,000
7. 移転費	750,000	750,000	1,500,000
負担工事費合計	15,989,930	53,011,400	69,001,330

4-5 基本設計図



0 25 50 M

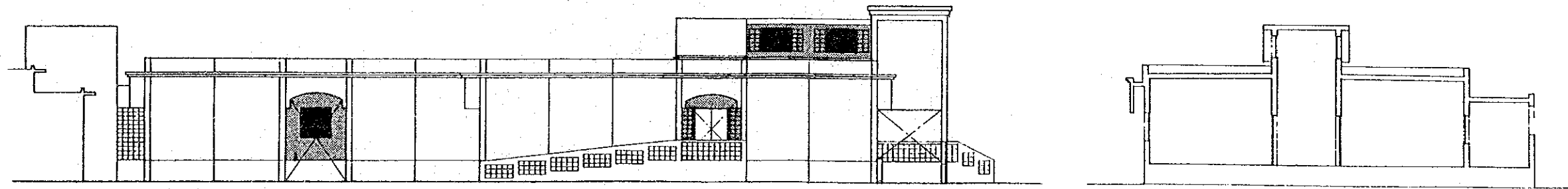
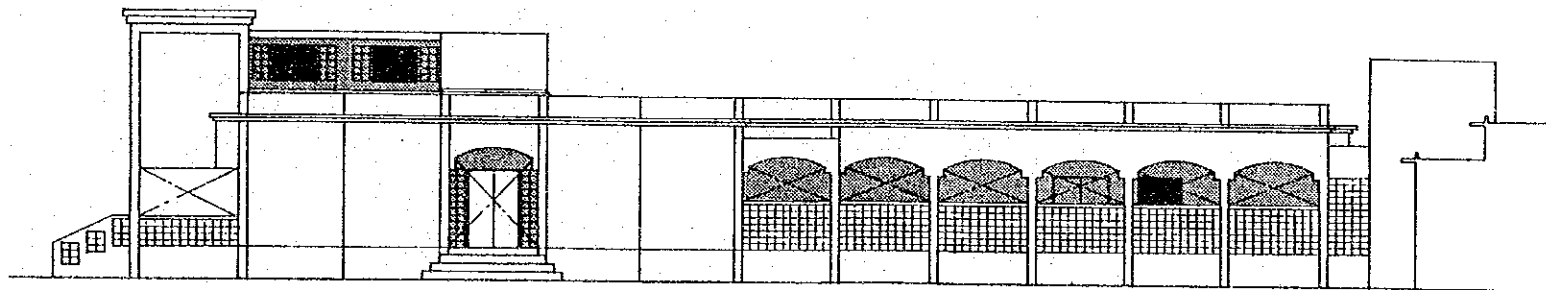
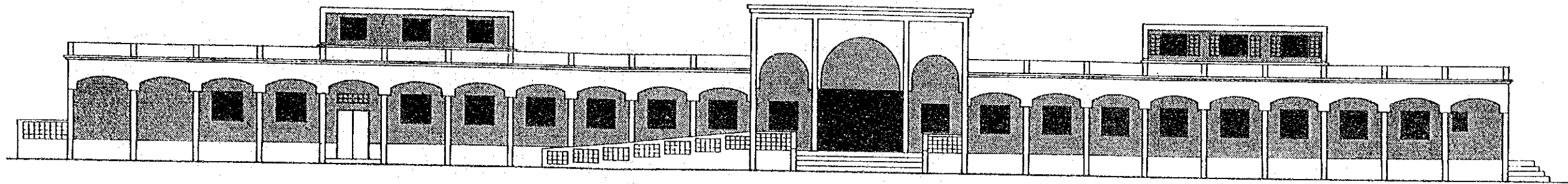
配置図



1階 平面図

0 5 10 M

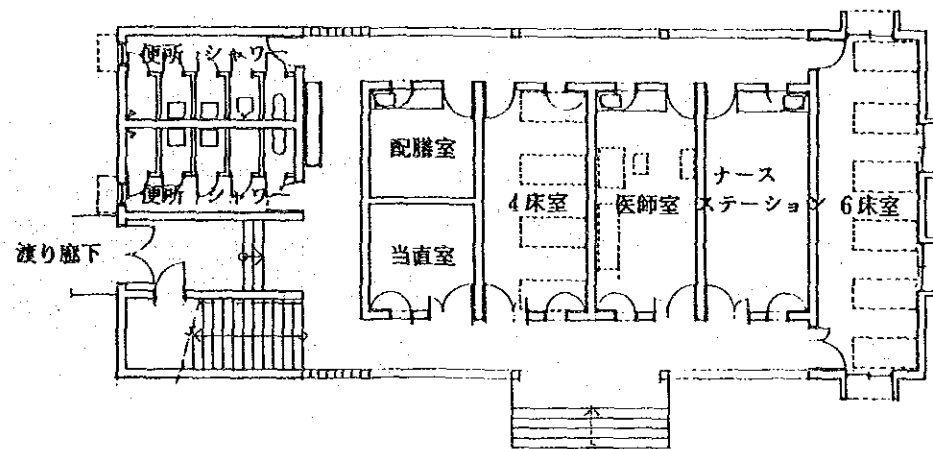
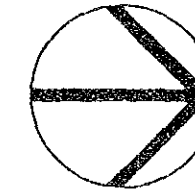
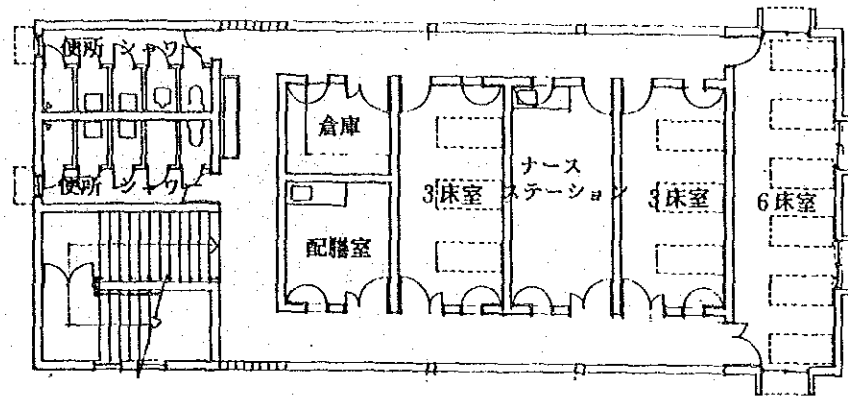
中央診療棟 (外来・中央診療)



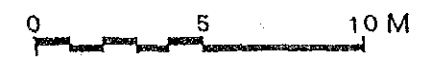
南立面图
 東立面图
 西立面图 断面图

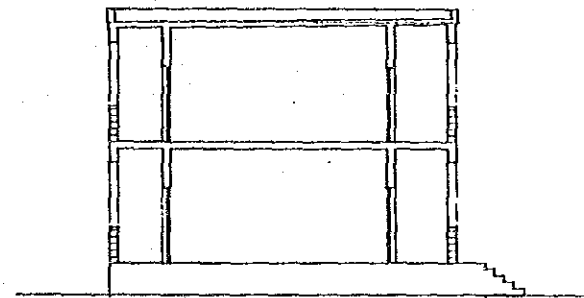
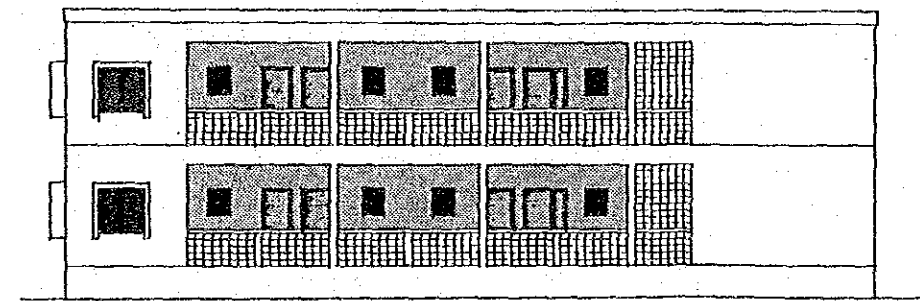
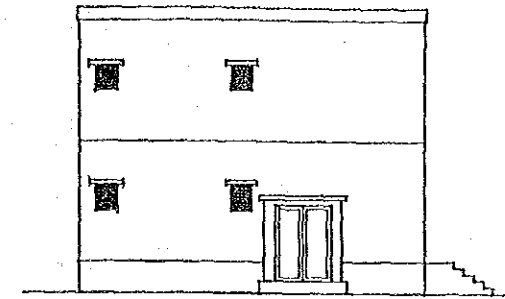
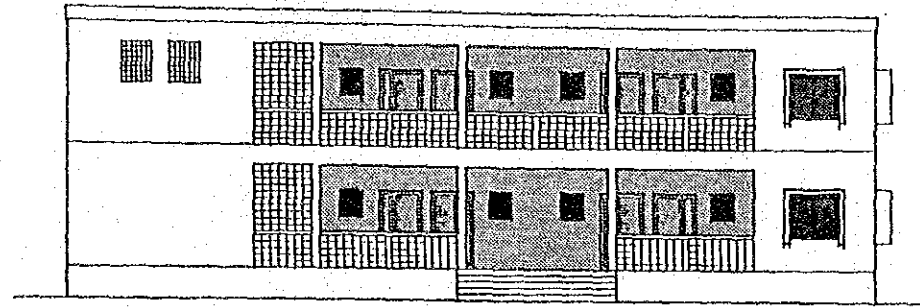
0 5 10 M

中央診療棟 (外科・中央診療)



2階 平面図
1階 平面図

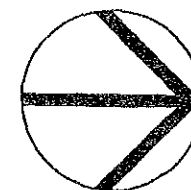
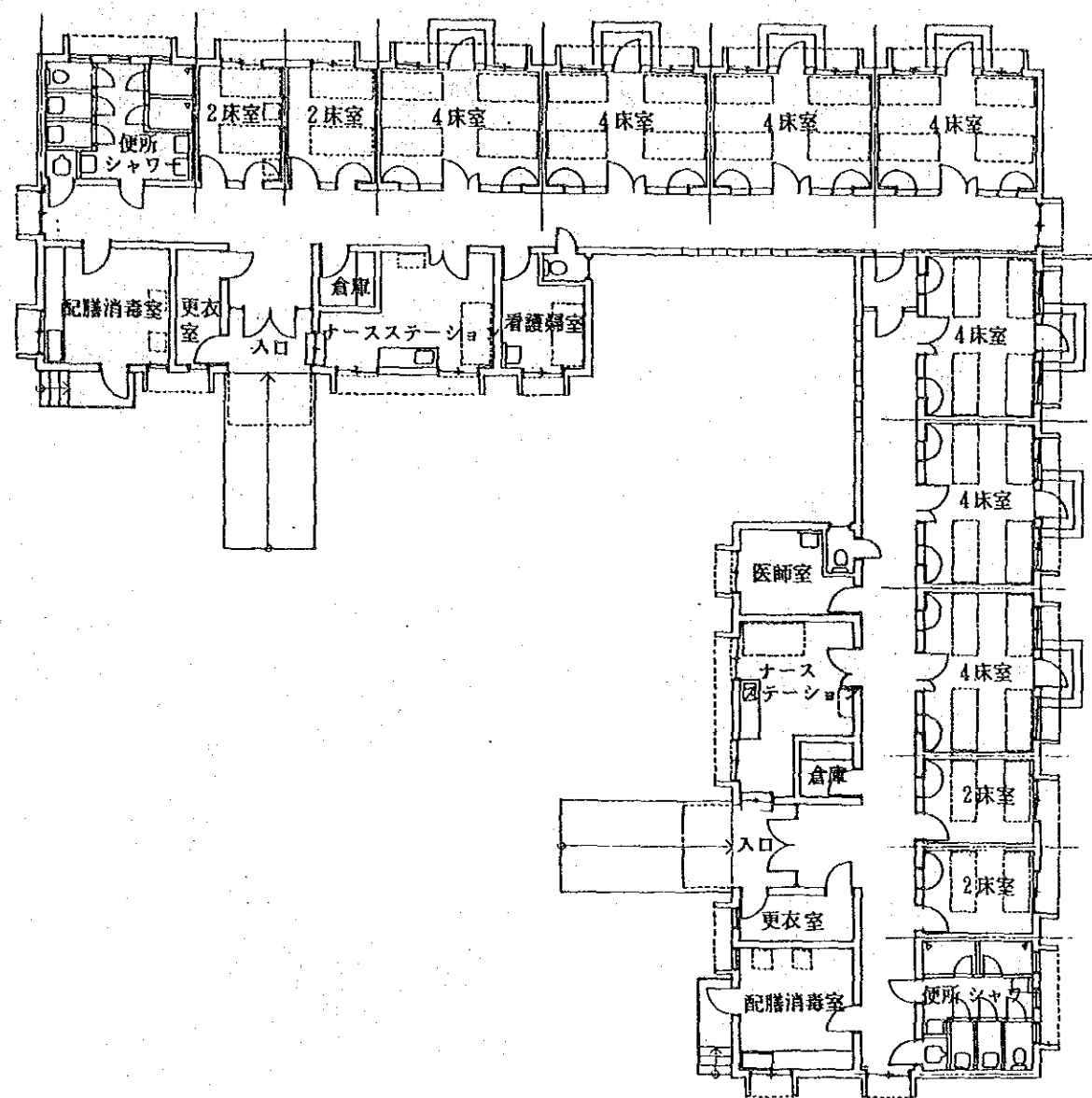




東立面図 南立面図
西立面図 断面図

0 5 10M

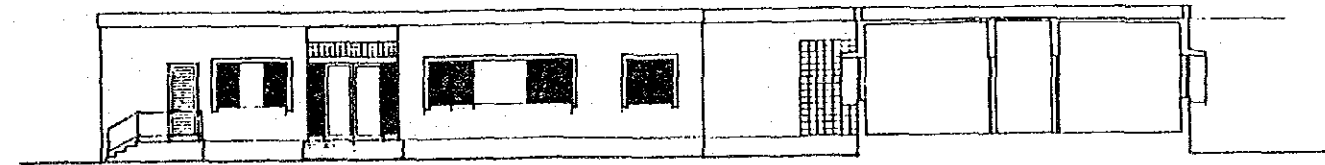
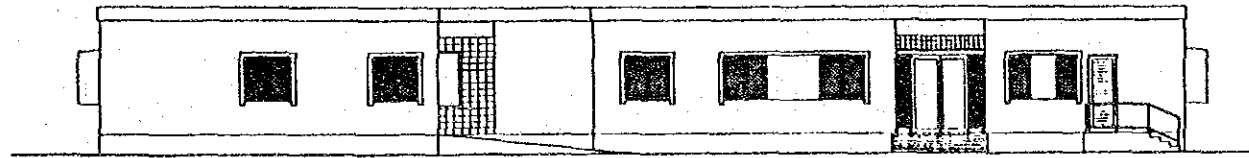
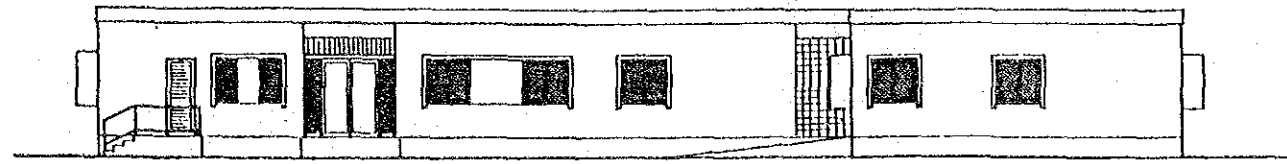
小児科棟 アネックス I



1階 平面図

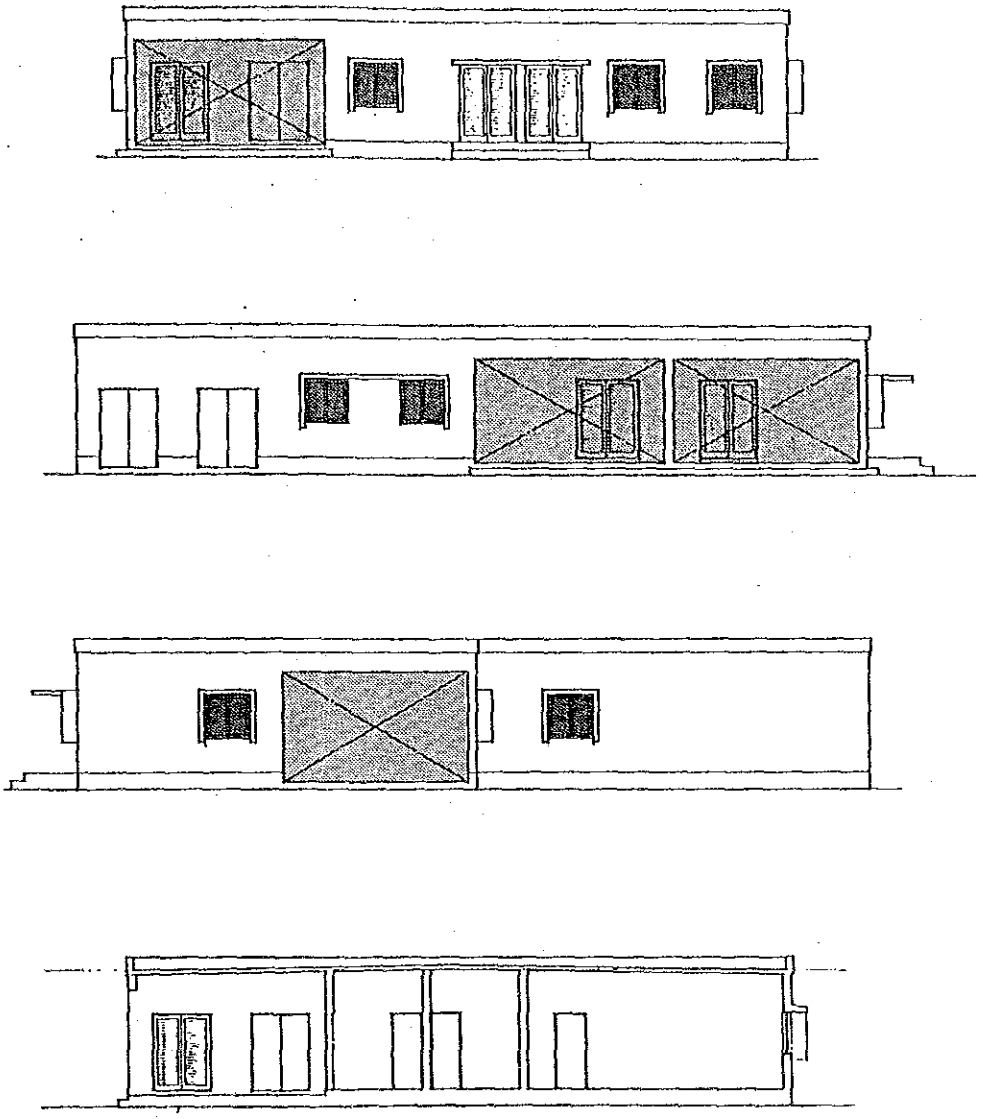
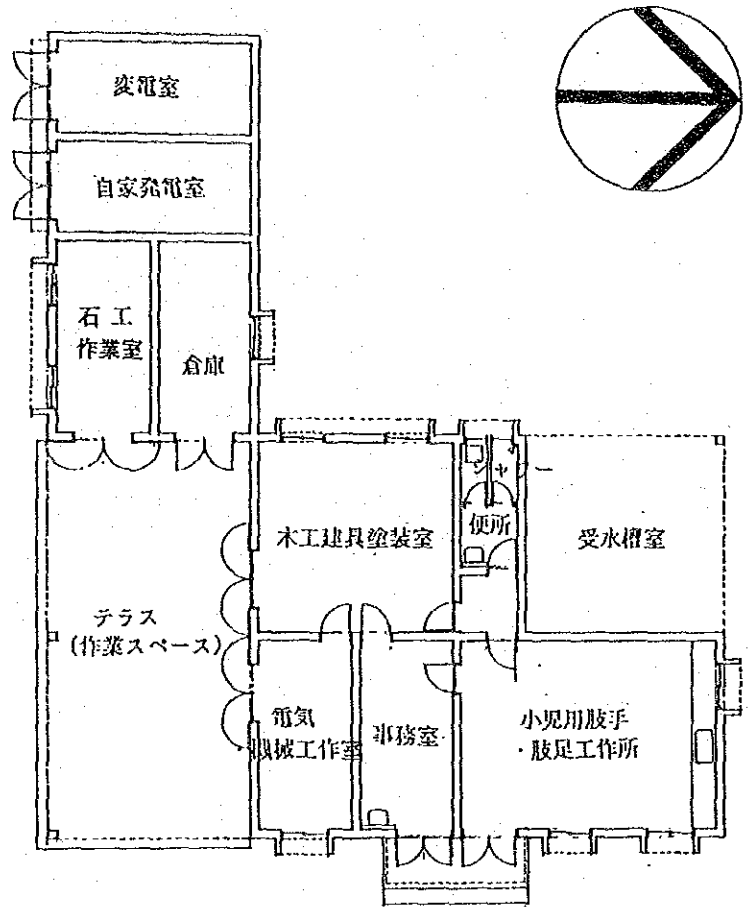


結核・感染症病棟

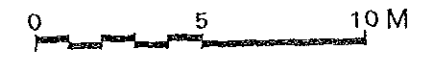


東立面图
南立面图
西立面图
断面图

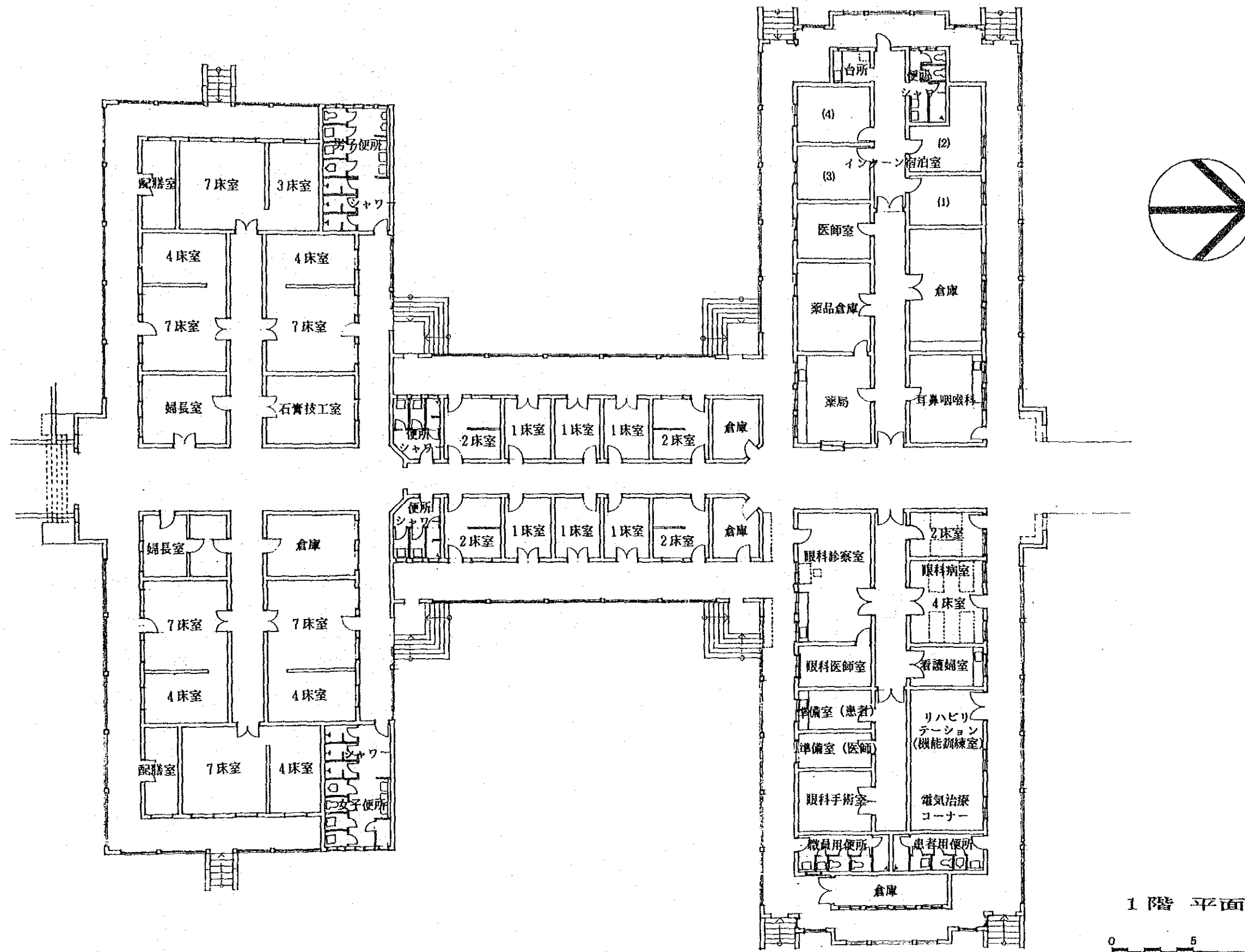
0 5 10 M



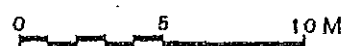
東立面図
 南立面図
 北立面図
 1階 平面図 断面図



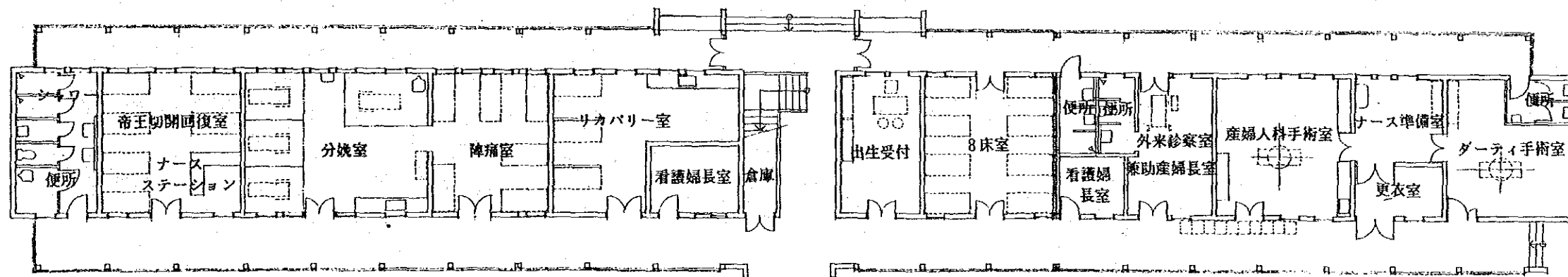
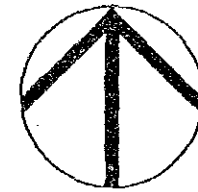
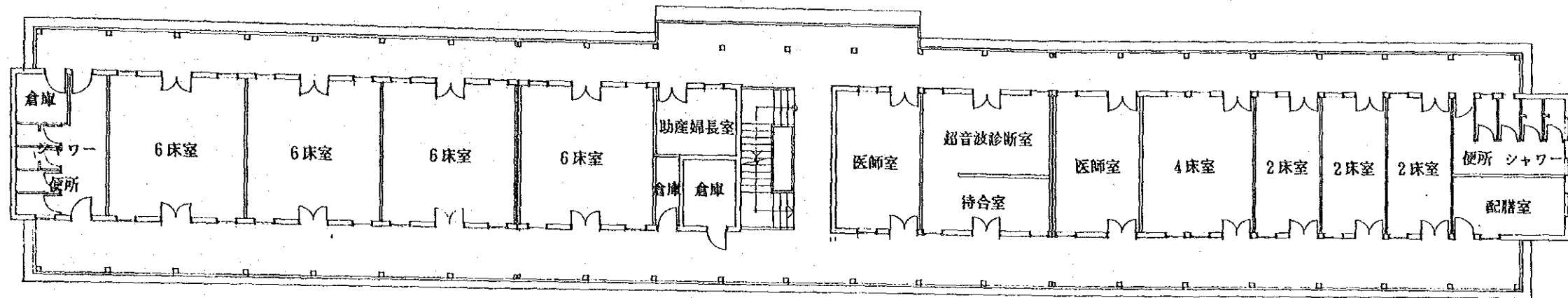
技術棟 ワークショップ



1階平面図

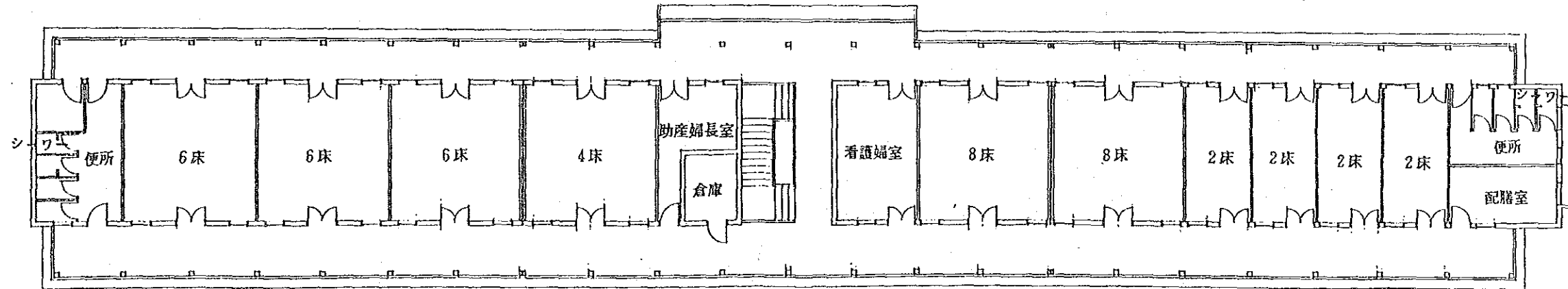
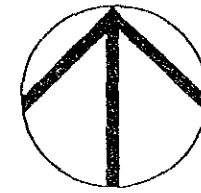
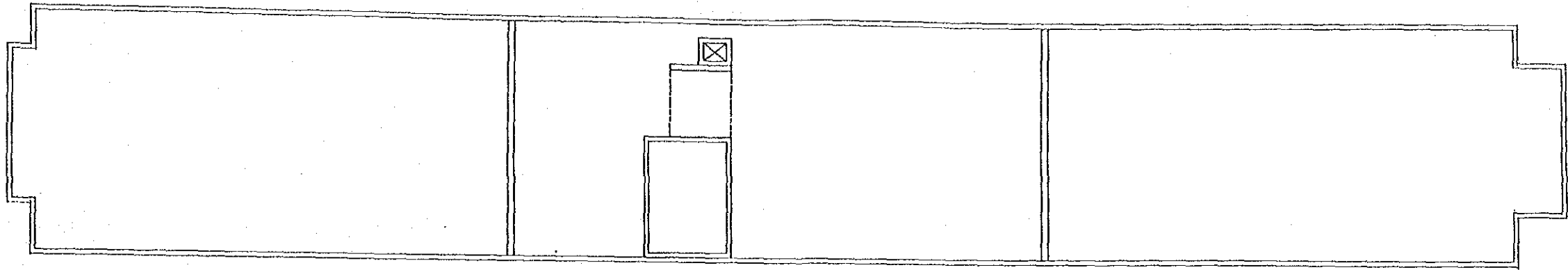


外科棟 改修図

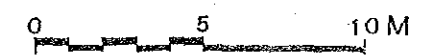


2階 平面図
1階 平面図

0 5 10M



屋階 平面図
3階 平面図



産婦人科棟

第5章 事業効果と結論

第5章 事業効果と結論

カオラック州、ファティク州の両州の2次医療を担うカオラック病院は施設、設備の老朽化、医療機材の不備により、病院機能が著しく低下しており、地域の中核病院としての医療サービスが提供出来ない状況にある。

本計画の目標は、こうした現状にあるカオラック病院を改修・整備し、病院機能の回復と改善を図る事により、次に述べる事業効果が期待出来るものである。

カオラック病院：

① 医療サービスの拡充と診療機会の増加

下記に示す診療内容の拡充・強化に伴い、医療サービスの範囲が広がり、地域住民の診療機会が増加する。

- 眼科部門の独立と病室（6床）の新設
- リハビリテーションに成人部門を新設
- 小児科部門の拡充（11床）
- 外科、産婦人科の回復室の機能強化と拡充（4床）
- 薬局・血液銀行部門の充実
- 上記による増床（21床）により総病床数は 319床から 340床となる。

医療水準の向上

病院施設・医療機材が整備される事により、医療水準が改善され向上し、2次医療の出来る病院となる。

これにより適切な治療が可能となり、地域住民の保健医療に多大な貢献を果たす。また治療が出来ないでダガールへ転送していた患者（数）とその転送コストの低減が可能となり、病院並びに患者の経済的負担の軽減が期待出来る。

③ 診療効率の向上と医療コストの低減

診療部門の中央化と集約化並びに医療機材の整備により、診療システムの合理化が図られ、診療効率が向上する。これにより、診療件数の増加が期待出来るので、1件当りの診療時間・医療コストが低減する。

地域医療サービス：

① 地域医療サービスの向上

病院の機能が回復され、2次医療レベルの医療サービスが提供出来る医療機関となり、地域医療サービスの向上が図られる。これによりカオラック州・ファティク州、両州 130

万人の地域住民の保健医療環境が改善される。

② 地域格差の是正

立ち後れているカオラック州・ファティク州の地域医療サービスが改善されるので、地域医療サービス地域間格差の是正に寄与する事が出来る。

また病床規模は現在の 319床から 340床となるので、1万人当りの病床数は 2.4床から 2.6床に改善される。

セネガル国保健医療行政の貢献 :

上記の事からも、プライマリーヘルスケアの発展と地域医療サービスの充実に寄与するばかりではなく、セネガル国保健医療行政に多大な貢献が期待出来るものである。

また、本計画は目標を病院機能の回復を第1に置いている。施設改修計画・医療機材計画の規模と内容の設定においては、カオラック病院の現状を考慮の上、それを逸脱しないものとし：

① 規模面では、現状の機能回復と改善を主体に行い、拡充については医療ニーズに合致した必要最小限の範囲とする。

② 内容面では、2次医療レベルの医療サービスが充足する範囲とし、診療システムの合理化が図られる計画とする。

等、達成目標の絞り込みと限定化を行っている。本計画実施後も病院運営に特段支障をきたすものではなく、病院運営は円滑に行われるものと思慮される。

完成後の病院運営は新たに増員される16名と現有133名で充分対応可能であり、増員スタッフの確保の目途についてもフランスの援助協力と保健省の確約があり問題はない。

本計画実施後の病院運営予算の増額は約5%と見積られている。本計画に関する運営予算の増額については、既に保健大臣より、企画省を通じ大蔵省に申請を行っている。1989年予算では特別に維持管理費の20%増額が認められている。本計画実施に伴うカオラック病院に対する予算措置については保健省の確約もあり、運営予算は優先的に確保される見通しである。

本計画により前述のように多大な効果が期待されると同時に本計画が広く住民の医療保健の向上に寄与するものである事から、本計画を無償資金協力で実施する事は妥当であると判断される。更に本計画の運営・管理についても、セネガル国側体制は人員、資金共に問題はないと考えられる。

本計画により同病院が整備されることとなるが、病院機能・活動の向上のためには、病院の

運営面等、ソフト面での充実での充実が不可欠である。従って、同病院関係者は円滑な病院運営のために以下の点に留意する必要がある。

- ① 供与機材に対する習熟努力
- ② 供与施設・機材の効果的活用
- ③ 供与施設・機材の適切な保守管理と予算措置
- ④ 保守管理体制の確立と清掃部門の強化

また、カオラック病院の監督官庁である保健省は、当病院が円滑な運営を行われるよう全般に渉る支援と運営体制作りが必要である。

附属資料

1. 基本設計調査及び報告書説明調査
 - (1) ミニッツ
 - (2) 調査日程表
 - (3) 調査団員名簿
2. 面談者リスト
3. 収集資料リスト

1. 基本設計調査及び報告書説明調査

(1) ミニッツ

基本設計調査 :

カオラック病院改修計画基本設計にかかる
協議議事録 (和訳)

セネガル共和国政府の要請に基づき、日本政府はカオラック病院改修計画のための基本設計調査を行うことを決定し、JICAは1989年1月28日より2月24日の間、セネガルに、国立病院医療センター医師 秋山稔氏を団長とする調査団を派遣した。

調査団は、セネガル保健省において、同省官房長 *Bandougou* 氏を代表とする関係者一同と本計画にかかる一連の協議を実施した。

調査の結果、両者は右計画の実現のため、別添で確認した基本事項につき検討するよう両国政府に勧告することに合意した。

ダカールにて 1989年2月8日

秋山 稔
調査団長

Bandougou SYLLA
保健省 官房長

Haddy Mamadou LY
計画協力省 官房長

[基本確認事項]

1. 目的

本計画の目的は、カオラック病院の改修によってカオラック州の医療水準を上げ、住民の保健増進及び同州の経済社会の発展に貢献することにある。

2. プロジェクトサイト

プロジェクトサイトは、別添-1に示す通り、カオラック州カオラック市内のカオラック病院敷地内である。

3. 要請

セネガル側の要請は別添-2の通りである。

4. 実施機関

セネガル国保健省が、本計画の実施につき、また計画実施後の諸施設と機材の運営及び保管につき、責任を有する。

5. 無償資金協力の仕組

施設の建設及び機材の供与については、日本のコンサルタントと企業を採用することとなる旨、日本の無償資金協力の制度を調査団側よりセネガル側に説明したところ、先方はこれを了解した。

6. 日本政府の義務

調査団は日本国政府に対し、日本の無償資金協力制度の枠組みの中で、別添-3の諸機材により、カオラック病院を改修する旨協力し、そのために必要な手続をとるよう本計画の内容を伝達するものとする。

7. セネガル政府の義務

セネガル政府は、上記無償資金協力が実施された場合、別添-4の必要諸手続及び別添-5の諸工事を行うものとする。

付 表 第 Ⅱ

カオラック（州）病院

1. リハビリテーション／検査棟
2. 産科ブロック／放射線
3. 肺結核／伝染病
4. 口 腔／耳鼻咽喉科／眼 科
5. 技術棟
6. 薬 局／血液銀行
7. 研修医（インターン） 宿舎
8. 発電機棟
9. 車 庫
10. 既在建物の取り壊し後、病院事務長・ソーシャルワーカー事務室
11. 小児科付属棟
12. 弱電〔電話、火災報知器、ナースコール〕
13. 配電網、屋外照明、変電所
14. 新設及び改修建物の機材
15. 道路その他のネットワーク
道路、既存建物の取り壊し、アース、パーキング、ベンチ、植樹（上下水道を除く）
16. 外科ブロックの改修
17. 産科の改修

付 表 第 Ⅲ

1. 既在建物の建て替え、もしくは病院の機能を改善するため、以下の建物の建設

次の施設の行なっている機能を有する建物（複数）

- リハビリ科
- 検査部
- 放射線科
- 結核・伝染病科
- 口腔・耳鼻咽喉・眼科
- 薬 局
- 血液銀行
- 発電棟
- 取り壊される予定の小児科付属棟

2. 建物の改修

- 外 科
- 産婦人科

3. 医療機材及び資材の供与

- 円滑な病院機能を保証する医療機材及び資材

4. その他の整備

- 施設のための配電
- メイン通路及び駐車場

備 考

セネガル側は下記につき強い要望を表明した。

- （施設）取り壊し費用一部の日本側負担
- 上下水道網の整備
インターン
- 研修医宿舎
- 車 庫
- 屋外照明及び変電施設

付 表 第 Ⅳ

セネガル側は、下記の諸手配をなすようとの要請を受けた。

1. カオラック病院の近傍に、改修工事開始前に本計画に必要な用地を確保すること。
2. エンジニアリング業務及び改修工事のための工事場への電力供給並びにその他の必要な便宜供与。
3. 日本側コンサルタントに対し、エンジニアリングサービス及び改修工事に必要な諸データ及び情報を提供すること。
4. 関税並びに通関に伴う付帯費用を免除し、本計画の実施に必要な資材、機器並びに交換部品の通関に必要な手続を取ること。
5. 銀行間取り決めに基づく銀行取引につき、日本側為替銀行に対し、以下の手数料を支払うこと。
 - 5-1 支払授權書に対する手数料
 - 5-2 支払手数料
6. 認証されるべき契約に基づく各種製品及び各種サービスの供与のために所要せられる労務を担当する日本国民に対し、本計画の実現のためのセネガル国入国並びに滞在に必要な諸手続をとること。
7. 現行法規に合致する限りにおいて、認証されるべき契約に基づく各種製品と各種サービスの供与に関し、関税、内国税、その他の税金の上記日本国民に対する課税を免除すること。
8. 本計画の実施に必要であって、しかも無償資金協力の対象とはならない諸経費を一切負担すること。
9. 日本の贈与により改修されるカオラック病院を適切かつ有効に管理し運営すること、かつ管理運営のための予算をたてること。

付 表 第 V

1. 以下の建物の改修

- 内 科（男子）棟
- 内 科（女子）棟
- 小児科（主棟）
- 厨 房
- 外来棟
- 従業員及び医師用住居
- 病院事務長及び人事課長用事務所
- 病院長事務室及び病院長住居

2. 以下の建物の建て直し

- 洗濯場（滅菌を含む）
- 外来受付棟
- 死体安置室

3. 既存に代わるものとして新築される下記の建物の建設計画に合わせての取り壊し作業

- 小児科棟の付属棟
- 結核棟
- 伝染病棟
- 口腔・耳鼻咽喉・眼科棟
- 薬局並びに検査棟

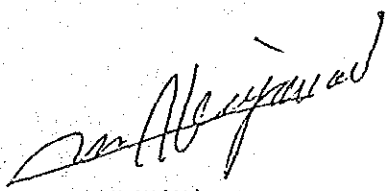
Procès-verbal portant sur le Projet
de Réhabilitation de l'Hôpital de Kaolack

En réponse à la requête du Gouvernement de la République du SENEGAL, le Gouvernement du Japon a décidé d'effectuer une étude du Plan de Base pour le Projet de Réhabilitation de l'Hôpital de Kaolack, et l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA) a envoyé au Sénégal, du 28 Janvier au 24 Février 1989, une mission d'étude dirigée par Docteur Minoru AKIYAMA, Chef de la Mission, Médecin au Centre Médical National, Japon.

La Mission a eu des discussions sur le projet au Ministère de la Santé Publique du Sénégal avec les intéressés, dirigés par Monsieur Bandougou SYLLA, Directeur de Cabinet de ce Ministère.


Comme résultats de l'étude, les deux parties se sont mises d'accord pour recommander à leurs Gouvernements respectifs d'examiner les points essentiels retenus entre eux, ci-joints, pour la réalisation du présent Projet.

Fait à Dakar, le 8 Février 1989

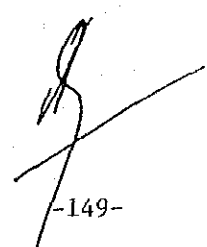


Minoru AKIYAMA
Chef de la Mission JICA

Bandougou SYLLA
Directeur de Cabinet
Ministère de la Santé
Publique



Hady Mamadou LY
Secrétaire Général
Ministère du Plan et de
la Coopération



POINTS ESSENTIELS RETENUS

OBJECTIFS

1. Les objectifs du Projet consistent à élever le niveau médical de la Région de Kaolack par la réhabilitation de l'Hôpital de Kaolack et à contribuer au progrès de la santé des populations et au développement socio-économique de la Région.

SITE DU PROJET

2. Le site du Projet est situé à l'Hôpital de Kaolack dans la ville de Kaolack, Région de Kaolack, Sénégal, comme le montre l'annexe I.

DEMANDE

3. La demande adressée par la Partie Sénégalaise est exposée à l'annexe II.

AGENCE DE MISE EN OEUVRE

4. Le Ministère de la Santé Publique du Sénégal est responsable de la réalisation du Projet, de l'exploitation et de l'entretien des locaux et des équipements après son achèvement.

SYSTEME DE COOPERATION FINANCIERE NON-REMBOURSABLE

5. La partie Sénégalaise a compris le système japonais de coopération non-remboursable expliqué par la mission JICA qui entraîne un principe d'emploi d'une firme d'experts-conseils et une entreprise japonaise pour l'installation et la fourniture du matériel.

ENGAGEMENT DU GOUVERNEMENT DU JAPON

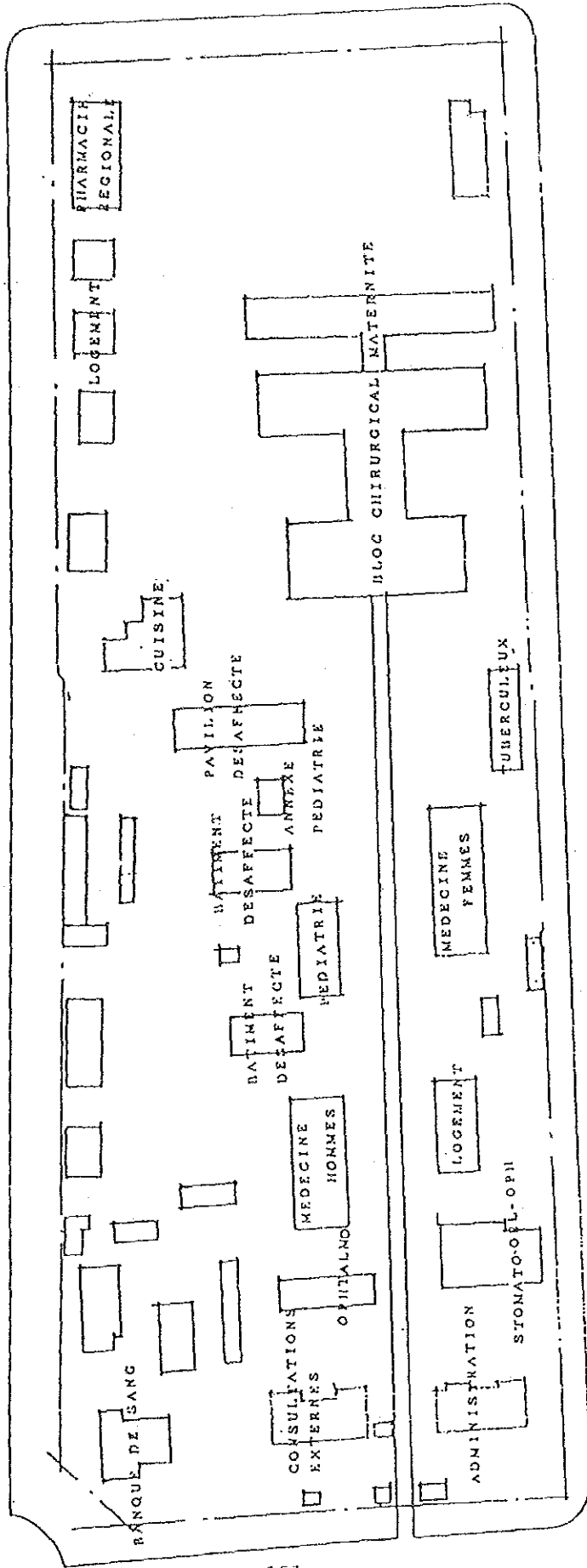
6. La mission JICA transmettra au Gouvernement du Japon le contenu du Projet pour que celui-ci prenne les mesures nécessaires pour coopérer à la réhabilitation de l'Hôpital de Kaolack grâce aux équipements et travaux énumérés dans l'annexe III, dans le cadre du système japonais de coopération financière non-remboursable.

ENGAGEMENT DU GOUVERNEMENT DU SENEGAL

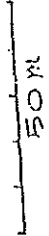
7. Le gouvernement de la République du Sénégal prendra les mesures nécessaires énumérées dans l'annexe IV en plus des travaux exposés dans l'annexe V à condition que la coopération financière non-remboursable soit accordée au Projet.

CAF
8 7

HOPITAL DE KAOLACK



1/1500



[Handwritten signature]
 7

ANNEXE II

HOPITAL REGIONAL DE KAOLACK

- 1- Rééducation fonctionnelle - Laboratoires
- 2- Bloc obstétrical - Radiodiagnostic
- 3- Pneumo-Phtisiologie - Maladies Infectieuses
- 4- Stomato-ORL-OPH
- 5- Locaux Techniques
- 6- Pharmacie - Banque de Sang
- 7- Studios internes
- 8- Local groupe
- 9- Abri - Véhicules
- 10- Bureaux surveillant général et assistant social après démolition de celui existant
- 11- Annexe pédiatrie
- 12- Courants faibles (téléphone, alarme incendie et technique, appels malades)
- 13- Réseau extérieur électrique, éclairage extérieur, poste de transformation
- 14- Equipement des bâtiments neufs et à rénover
- 15- Voirie - réseaux divers
Voirie, démolition bâtiments, circuit de terre, parkings, bancs publics, plantation d'arbres. (exceptés l'adduction d'eau et l'assainissement)
- 16- Bloc chirurgical à rénover
- 17- Maternité à rénover./-


7

ANNEXE III

1. Construction des bâtiments pour remplacer ceux existants ou améliorer le fonctionnement de l'Hôpital

Les bâtiments ayant les fonctions remplies par les établissements suivants:

- service de rééducation fonctionnelle
- laboratoire
- service de radiologie
- service de tuberculose et maladies contagieuses
- service Stomato-ORL-Ophtalmologie
- locaux techniques
- pharmacie
- banque de sang
- local des groupes électrogènes
- l'annexe du bâtiment de Pédiatrie qui sera démolie

2. Réfection des Bâtiments

- Chirurgie
- Gynécologie et Obstétrique

3. Apport des Equipements médicaux et des Matériels

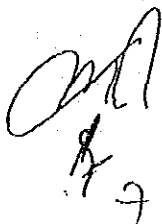
- les équipements médicaux et matériels qui assureront un bon fonctionnement de l'Hôpital

4. Aménagements Divers

- Réseau électrique de l'établissement
- Voies de passage importantes et parking

Nota: La partie Sénégalaise a formulé une vive demande pour;

- la prise en charge par la partie japonaise d'une part des frais de démolition
- l'aménagement des réseaux d'adduction d'eau potable et d'évacuation des eaux usées
- le logement pour les internes
- le garage
- l'éclairage extérieur et le poste de transformation



Handwritten signature and initials, possibly 'M. S.', with a small '7' below.

ANNEXE IV

La partie sénégalaise est priée de prendre les arrangements suivants:

1. Assurer près de l'Hôpital de Kaolack un espace disponible qui est nécessaire pour le Projet avant le commencement des travaux de sa réhabilitation.
2. Fournir des facilités pour l'alimentation du chantier en électricité et d'autres facilités nécessaires pour les services d'engineering et les travaux de réhabilitation.
3. Fournir des données et des informations aux experts-conseils japonais et qui seront nécessaires pour les services d'engineering et les travaux de réhabilitation.
4. Exonérer des taxes et frais accessoires de douane et prendre les mesures nécessaires pour le dédouanement des matériels, équipements et pièces de rechange destinés à la réalisation du Projet.
5. Prendre en charge la commission à la banque de change japonaise pour les opérations bancaires basées sur l'arrangement bancaire comme suit :
 - 5.1 Commission d'avis d'Autorisation de Payer
 - 5.2 Commission de Paiement
6. Accorder aux nationaux japonais dont les services pourraient être requis à propos de la fourniture des produits et des services sous les contrats vérifiés les facilités nécessaires pour leurs entrée et séjour au Sénégal pour la réalisation du Projet.
7. Exonérer les nationaux japonais des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres impôts fiscaux qui pourraient être imposés dans le Sénégal en ce qui concerne la fourniture des produits et des services sous les contrats vérifiés autant que cela se conforme au règlement existant.
8. Prendre tous les frais ne faisant pas l'objet de la coopération financière non-remboursable, nécessaires à la réalisation du Projet.
9. Entretenir et exploiter proprement et efficacement l'Hôpital de Kaolack réhabilité par le don japonais, et prévoir le budget pour l'entretien et l'exploitation.



ANNEXE V

1. Réfection des Bâtiments suivants:

- Médecine Générale (Hommes)
- Médecine Générale (Femmes)
- Pédiatrie (bâtiment principal)
- Cuisine
- Consultations Externes
- Logement du Personnel et des Médecins
- Bureau du Surveillant Général et du Chef du Personnel
- Bureau et Logement du Directeur d'Hôpital

2. Reconstruction des Bâtiments suivants

- Buanderie (stérilisation)
- Consultation-Tri
- Morgue

3. Démolition des installations ci-dessous qui aura lieu suivant le programme de construction pour les remplacer

- l'annexe du bâtiment de la Pédiatrie
- Tuberculose
- Maladies Contagieuses
- Stomatologie-ORL-Ophtalmologie
- Pharmacie et Laboratoire

MA
H.
2

カオラック病院改修計画に関する議事録 (和訳)

日本国政府は、国際協力事業団(以下「JICA」と称する)を通じ、カオラック病院改修計画に係わる基本設計調査の報告書(以下「報告書」と称する)の原案を提出し、本件に係わる諸説明を行うため、1989年6月4日より6月16日に至る外務省無償資金協力課 今村徹を団長とする調査団をセネガル共和国に派遣した。

調査団はセネガル国保健省の本件責任者に対し、報告書の内容を説明し、右責任者と一連の協議を行なった。協議の結果、両者は以下につき合意した。

1. セネガル側は、報告書原案に記載する基本設計(その要約は付表Ⅰの通り)に原則的合意を与えた。
2. セネガル側はJICAミッションの行なった日本国の無償資金協力制度につき理解した。
3. セネガル側は1989年2月8日両者が署名した本件議事録に従い、日本国の無償資金協力が本計画に与えられる際には、付表Ⅱに記載する必要諸手続きをとることを再確認した。
4. 上掲第3項にいう必要諸手続きの他、セネガル側は日本側の下記要望につき留意した。
 - 1) カオラック病院の診療各科の円滑なる運営のため必要な予算を計上し、かつ適正な人員を配置すること。
 - 2) 本計画が支障なく実施せられるよう付表Ⅲに記載するセネガル側の分担工事を、日本側が無償資金協力の枠組みにおいて分担する工事に合わせ調整すること。
 - 3) 工事期間中、病院運営が支障なく行われるよう、患者の他施設への移転につき、適切な計画をたて、右患者の診療を保証すること。
5. 日本側は1989年8月中に最終報告書をセネガル国政府に提出する。〔仏文10部〕

1989年6月9日

ダカールにおいて調印

〔署名者〕

JICA調査団

今村 徹

保健省

官房長 Bandougou SYLLA

計画・協力者

官房長

Hady Mamadou LY

1. 建物の新設

- 1) 中央診療棟
- 2) 小児科棟（アネックス1）
- 3) 結核・感染病棟
- 4) 技術棟

2. 建物の改修

- 1) 外科棟
- 2) 産婦人科棟

3. 外構及び構内インフラストラクチャー整備

4. 医療器材の供給

- 1) 外来診療各科の必要とする医療器材
- 2) 中央診療各科の必要とする医療器材
- 3) 各科病棟の必要とする医療器材

付表 Ⅱ

セネガル側にて取るべき必要諸手続

1. カオラック病院の構内に、改修工事開始前に本計画に必要な用地を確保すること。
2. エンジニアリング業務及び改修工事のための工事場への電力供給並びにその他の必要な便宜供給。
3. 日本側サンサルタントに対し、エンジニアリングサービス及び改修工事に必要な諸データ及び情報を提供すること。
4. 関税並びに通関に伴う付帯費用を免除し、本計画の実施に必要な資材、機器並びに交換部品の通関に必要な手続を取ること。
5. 銀行間取り決めに基づく銀行取引につき、日本側為替銀行に対し、以下の手数料を支払うこと。
 - 5-1 支払授權書に関する手数料
 - 5-2 支払手数料
6. 認証されるべき契約に基づく各種製品及び各種サービスの供与のために所要せられる労務を担当する日本国民に対し、本計画の実現のためのセネガル国入国並びに滞在に必要な諸手続をとること。
7. 現行法規に合致する限りにおいて、認証されるべき契約に基づく各種製品と各種サービスの供与に関し、関税、内国税、その他の税金の上記日本国民に対する課税を免除すること。
8. 本計画の実施に必要であって、しかも無償資金協力の対象とはならない諸経費を一切負担すること。
9. 日本の贈与により改修されるカオラック病院を適切に有効に管理し運営すること、かつ管理運営のための予算をたてること。

付表 Ⅲ

セネガル側実施工事

1. 以下の建物の改修

- 内 科（男子）棟
- 内 科（女子）棟
- 小児科（主棟）
- 厨 房
- 外来棟
- 従業員及び医師用住居
- 病院事務長及び人事課長用事務所
- 病院長事務室及び病院長住居

2. 以下の建物の建て直し

- 洗濯場（滅菌を含む）
- 外来受付棟
- 死体安置室

3. 既存に代わるものとして新築される下記の建物の建設計画に合わせての取壊し作業

- 小児科棟の付属棟
- 結核棟
- 伝染病棟
- 口腔・耳鼻咽喉・眼科棟
- 薬局並びに検査棟

Procès-Verbal portant sur le Projet de Réhabilitation de
l'Hôpital de Kaolack

Le Gouvernement du Japon a envoyé, par le canal de l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après "JICA"), une mission d'étude dirigée par Monsieur Toru IMAMURA, membre de la Division Don, Ministère des Affaires Etrangères, du 4 au 16 juin 1989 à la République du Sénégal, en vue de soumettre le projet de rapport définitif sur l'étude de plan de base relatif au projet de Réhabilitation de l'Hôpital de Kaolack (désigné ci-après "Rapport") et de donner les explications y afférent^{es}.

La mission d'étude a expliqué le contenu du Rapport aux responsables concernés du Ministère de la Santé Publique du Sénégal et mené une série de discussions avec eux. Au terme de ces discussions, les deux parties se sont mises d'accord sur ce qui suit :

1. La partie sénégalaise a donné l'accord de principe sur le plan de base exposé au projet du Rapport dont le résumé apparaît à l'Annexe I ci-jointe.
2. La partie sénégalaise a compris le système japonais de coopération non-remboursable expliqué par la mission JICA.
3. La partie sénégalaise a reconfirmé qu'elle prendrait les mesures nécessaires exposées à l'Annexe II ci-jointe conformément au Procès-Verbal portant sur le Projet signé par les deux parties le 8 février 1989 au temps où la coopération financière non-remboursable du Japon soit accordée à ce projet.

4. En plus des mesures nécessaires mentionnées à l'article 3 ci-haut, la partie sénégalaise a pris une bonne note de la demande de la partie japonaise


1) de dresser un budget nécessaire et d'affecter un personnel adéquat en vue d'assurer un bon fonctionnement des services de l'Hôpital de Kaolack.

2) de coordonner les travaux à la charge de la partie sénégalaise énumérées à l'Annexe III ci-jointe avec les travaux dont la partie japonaises'engage dans le cadre de la coopération financière non-remboursable de sorte que le Projet sera réalisé sans à-coups.

3) d'élaborer un plan propre aux déplacements des malades dans d'autres locaux et d'assurer leur traitement afin que l'exploitation de l'Hôpital ne soit pas perturbée pendant que les travaux sont en cours.

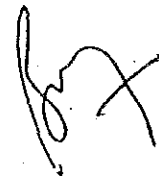
5. La partie japonaise soumettra le Rapport définitif (10 exemplaires en version française) au Gouvernement du Sénégal au mois d'août 1989.

Fait à Dakar, le 9 juin 1989



TOYU IMAMURA

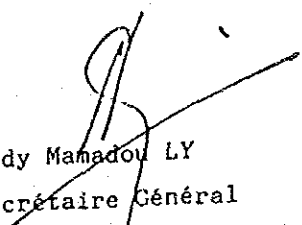
Chef de la Mission JICA



BANDOUGOU SYLLA

Directeur de Cabinet

Ministère de la Santé Publique



Hady Mamadou LY
Secrétaire Général
Ministère du Plan et de
la Coopération

ANNEXE I

Le Projet en résumé

1. Nouvelle construction des bâtiments :

- 1) service des consultations centrales
- 2) service de pédiatrie (annexe I)
- 3) service tuberculose et maladies infectieuses
- 4) locaux techniques

2. Rénovation des établissements :

- 1) chirurgie
- 2) gynécologie et obstétrique

3. Aménagement extérieur et d'infrastructure intérieur

4. Approvisionnement du matériel et des équipements médicaux :

- 1) matériel et équipements médicaux nécessaires au service de consultations externes
- 2) matériel et équipements médicaux nécessaires au service de consultations centrales
- 3) matériel et équipements médicaux nécessaires aux hospitalisations.

ANNEXE II

Les Mesures nécessaires que la partie sénégalaise prendra

1. Assurer sur le site de l'Hôpital de Kaolack un espace disponible qui est nécessaire pour le projet avant le commencement des travaux de sa réhabilitation.
2. Fournir des facilités pour l'alimentation du chantier en électricité et d'autres facilités nécessaires pour les services d'engineering et les travaux de réhabilitation.
3. Fournir des données et des informations aux experts-conseils japonais et qui seront nécessaires pour les services d'engineering et les travaux de réhabilitation.
4. Exonérer des taxes et frais accessoires de douane et prendre les mesures nécessaires pour le dédouanement des matériels, équipements et pièces de rechange destinés à la réalisation du Projet.
5. Prendre en charge la commission à la banque de change japonaise pour les opérations bancaires basées sur l'arrangement bancaire comme suit :
 - 5.1 Commission d'avis d'Autorisation de Payer
 - 5.2 Commission de Paiement
6. Accorder aux nationaux japonais dont les services pourraient être requis à propos de la fourniture des produits et des services sous les contrats vérifiés les facilités nécessaires pour leur entrée et séjour au Sénégal pour la réalisation du Projet.
7. Exonérer les nationaux japonais des droits de douane, des taxes intérieures et d'autres impôts fiscaux qui pourraient être imposés dans le Sénégal en ce qui concerne la fourniture des produits et des services sous les contrats vérifiés autant que cela se conforme au règlement existant.
8. Prendre tous les frais ne faisant pas l'objet de la coopération financière non-remboursable, nécessaires à la réalisation du Projet.
9. Entretenir et exploiter proprement et efficacement l'Hôpital de Kaolack réhabilité par le don japonais, et prévoir le budget pour l'entretien et l'exploitation.

ANNEXE III

Les Travaux à la charge de la partie sénégalaise

1. Réfection des Bâtiments suivants :

- Médecine Générale (Hommes)
- Médecine Générale (Femmes)
- Pédiatrie (bâtiment principal)
- Cuisine
- Consultations Externes
- Logement du personnel et des Médecins
- Bureau du Surveillant Général et du Chef du Personnel
- Bureau et Logement du Directeur d'Hôpital

2. Reconstruction des Bâtiments suivants :

- Buanderie (stérilisation)
- Consultation-Tri
- Morgue

3. Démolition des installations ci-dessous qui aura lieu suivant le programme de construction pour les remplacer :

- L'annexe du bâtiment de la Pédiatrie
- Tuberculose
- Maladies Contagieuses
- Stomatologie-ORL-Ophtalmologie
- Pharmacie et Laboratoire

(2) 調査日程表

基本設計調査 :

月 日	団 員	行 動	宿泊地
1月28日(土)	俵谷、佐布、中谷 柳川	成田発(12:50 AF-275) パリ着(17:30)	パリ
29日(日)	俵谷、佐布、中谷 柳川	パリ発(15:15 AF-323) ダカール着(21:15)	ダカール
30日(月)	俵谷、佐布、中谷 柳川	(1) 現地コンサル打合せ (2) 公共事業省試験所打合せ	ダカール
	西端	ダカール着(23:20 IB-851)	
31日(火)	西端、俵谷、佐布 中谷、柳川	(1) 保健省、青年協力隊事務所 日本大使館 WHO 表敬 (2) インセプションレポート説明	ダカール
2月1日(水)	西端、俵谷、中谷 柳川	(1) 団内ミーティング	ダカール
	佐布	(2) 調査(施設老朽化試験方法について)	
2日(木)	秋山	ダカール着(4:55 SN-427)	カオラック
	俵谷、佐布、中谷 柳川	(1) ダカールからカオラックへ移動 (2) カオラック州知事、市長、病院長表敬 訪問	
3日(金)	秋山、西端、俵谷 佐布、中谷、柳川	(1) カオラック病院調査 (2) 医療機材等協議	カオラック
4日(土)	秋山、西端、俵谷 佐布、中谷、柳川	(1) カオラック病院改修内容協議 (2) カオラックからダカールへ移動	ダカール
	秀島、菅原	成田発(12:50 A-275) パリ着(17:30)	パリ
5日(日)	秋山、西端、俵谷 佐布、中谷、柳川	団内ミーティング	ダカール
	秀島、菅原	パリ発(15:15 AF-323) ダカール着(21:15)	
6日(月)	秋山、西端、俵谷 佐布、中谷、柳川 秀島、菅原	(1) 保健省と協議 (2) ダンテック病院視察	ダカール
7日(火)	秋山、西端、俵谷 中谷、柳川	(1) 保健省と協議 (2) 仏系ミッションと協議	ダカール
	佐布、秀島、菅原	(3) 資料整理	

月・日	団員	行 動	宿泊地
2月8日(水)	秋山、西端、俵谷、 佐布、中谷、秀島、 菅原、柳川	(1) ミニッツ署名交換 (2) 大使館、青年協力隊事務所報告	ダカール
	中谷、柳川、秀島、 菅原	ダカールからカオラック移動	カオラック
	秋山、西端	ダカール発 (AF 310)	
9日(木)	中谷、柳川、秀島、 菅原	・カオラック病院現況調査	
	俵谷、佐布	・ダカールからカオラック移動	カオラック
10日(金)	俵谷、中谷、秀島、 佐布、柳川、菅原	・カオラック病院現況調査	
	佐布、柳川、菅原	・電力公社、電話公社、上下水道公社と協議	カオラック
11日(土)	俵谷、佐布、中谷、 柳川、秀島、菅原	(1) カオラック病院現況調査 (2) カオラック市内建材店調査 (3) 団内ミーティング	カオラック
12日(日)		(1) 部門別平面スケッチ作成 (2) 収集資料の整理、	カオラック
13日(月)	俵谷、秀島、菅原	(1) 部門別平面スケッチ打合せ	
	中谷、佐布、柳川	(2) 医療機材リスト打合せ	
	俵谷、佐布、中谷、 秀島、菅原、柳川	(3) 団内ミーティング	カオラック
14日(火)	俵谷、秀島、菅原	(1) 部門別平面スケッチ打合せ	
	中谷、佐布、柳川	(2) 医療機材リスト打合せ	
	佐布、菅原	(3) 土地登記公社にて敷地調査	カオラック
15日(水)	中谷、佐布、柳川	(1) 医療機材リスト打合せ	
	俵谷、佐布、中谷、 秀島、菅原、柳川	(2) チェイス病院視察 (3) カオラックからダカールへ移動	ダカール
16日(木)	中谷、佐布、柳川	(1) 機材輸入代理店打合せ (2) プリンシパル病院視察 (3) 整形機器センター (4) 血液センター視察	
	俵谷、秀島、菅原	(5) 資料整理	ダカール

月・日	団員	行 動	宿泊地
17日(金)	中谷、佐布、柳川	(1) 医療機材輸入代理店打合せ	ダカール
	俵谷、佐布、秀島 菅原	(2) 建築資材調査	
	俵谷、佐布、中谷 秀島、菅原、柳川	(3) 保健省協議	
18日(土)	佐布、菅原	(1) 建築資材調査	ダカール
	俵谷、秀島	(2) 部門別平面プラン作成	
	中谷、柳川	(3) 医療機材リスト作成	
19日(日)	秀島、菅原	(1) 部門別平面プラン作成	ダカール
	俵谷、佐布、中谷 柳川	(2) メモランダム作成	
20日(月)	俵谷、佐布、中谷 柳川、秀島、菅原	(1) 団内ミーティング (2) 医療機材代理店調査 (3) 保健省、大使館、青年協力隊事務所へ 報告(メモランダム提出)	ダカール
21日(火)	"	(1) 保健省メモランダム説明 ダカール発(23:55 AF-302)	機中泊
22日(水)	"	パリ着(18:10)	パリ
23日(木)	"	パリ発(12:20 AF-274)	パリ
24日(金)	"	成田着(16:00)	

報告書説明調査 :

月 日	団 員	行 動	宿泊地
6月4日 (日)	今村、秋山、俵谷 中谷、柳川	成田発 (20:30 SR-163)	
5日 (月)	同上	ジュネーブ着 (8:05)	ジュネーブ
6日 (火)	同上	ジュネーブ発 (14:00 SR-242) ダカール着 (17:50)	ダカール
7日 (水)	同上	(1) 日本大使館表敬 (2) 保健省表敬、ドラフトファイナルレポートの 提出、説明	ダカール
8日 (木)	同上	(1) 保健省ドラフトファイナルレポート協議 (2) 議事録内容の確認	ダカール
9日 (金)	同上	(1) 保健省ドラフトファイナルレポート協議 (2) 議事録・署名交換	ダカール
10日 (土)	同上	(1) 移動 (ダカール→カオラック) (2) 州知事、市長、病院長表敬	カオラック
	俵谷、中谷、柳川	(3) 病院補足調査	
	今村、秋山	(4) 移動 (カオラック→ダカール)	ダカール
11日 (日)	俵谷、中谷、柳川	(1) 病院補足調査 (2) 資料整理	カオラック
	今村、秋山	(3) ダカール発 (23:55 AF-322)	
12日 (月)	俵谷、中谷、柳川	(1) 病院補足調査 (2) 移動 (カオラック→ダカール)	ダカール
13日 (火)	同上	(1) 医療機材輸入代理店調査 (2) 日本大使館報告 (3) JOCV事務所打合せ (4) ダカール発 (23:55 A-302)	
14日 (水)	同上	(1) パリ着 (9:00)	パリ
15日 (木)	同上	(1) パリ発 (14:30 JL-420)	
16日 (金)	同上	(1) 成田着 (16:55)	

(3) 調査団員名簿

基本設計調査 :

担当業務	氏名	所属
団長	秋山 稔	国立病院医療センター
計画管理	西端 則夫	国際協力事業団 無償資金協力計画部 基本設計1課
建築計画	俵谷 莞三	綏梓設計
建築設計	秀島 哲	綏梓設計
機械設備計画	佐布 恒雄	綏梓設計
電気設備計画	菅原 喜行	綏梓設計
医療機材計画	中谷 浩三	綏梓設計
仏語通訳	柳川 勇	綏梓設計

報告書説明調査 :

担当業務	氏名	所属
団長	今村 徹	外務省経済協力局無償資金協力課
医療計画	秋山 稔	国立病院医療センター
建築計画	俵谷 莞三	綏梓設計
医療機材計画	中谷 浩三	綏梓設計
仏語通訳	柳川 勇	綏梓設計

2. 面談者リスト

基本設計調査 :

在セネガル共和国日本国大使館	参事官	藤 原 定	
	二等書記官	河 野 章	
在セネガル共和国青年海外協力隊事務所	調整員	辰 見 石 夫	
	隊 員	寺 岡 理 恵	
	"	浦 和 美 恵	
保 健 省	官房長	<i>Bandougou</i>	<i>SYLLA</i>
	(病院施設局) 病院施設局長	<i>Ibrahima</i>	<i>FAYA</i>
	技術顧問	<i>George</i>	<i>FOURNIER</i>
	(病院施設局) 技術補佐官	<i>Alain Le</i>	<i>GARNEC</i>
	" 設備担当技師	<i>Abdourahmane</i>	<i>NDOYE</i>
	" 土木技師	<i>Abdoul Hamid</i>	<i>DIOUF</i>
	" 保守課長	<i>Mayaline</i>	<i>NDIAYE</i>
計 画 省	計画技師	<i>Mme Drame'</i>	<i>NDEYE</i>
カオラック病院	病院長	<i>Yaya Moustapha</i>	<i>NDIAYE</i>
	事務長	<i>Baye Demba</i>	<i>NDOYE</i>
	管理技師長	<i>Magaye</i>	<i>NDIR</i>
WHO	所 長	<i>Victor</i>	<i>AGBESSI</i>
カオラック州	知 事	<i>Dial</i>	<i>DIOP</i>
カオラック市	市 長	<i>Abdoulaye</i>	<i>DIAK</i>
チエス州立病院	病院長	<i>Adama</i>	<i>KANE</i>
	事務長	<i>Adadon</i>	<i>SOW</i>
ダカール中央病院	X線科長	<i>Jean Paul</i>	<i>EYNARD</i>
	事務長兼看護長	<i>Moustafa</i>	<i>WLIAYE</i>
血液センター	所 長	<i>Lamine</i>	<i>DIAKHATE</i>
	副所長	<i>Prat</i>	<i>ROGER</i>
国立センター	所 長	<i>Rigal Frangad</i>	<i>FRANCOIS</i>
現地コンサルタント	SONED社	建築士 <i>Ouduane</i>	<i>NDAO</i>
		常 務 <i>Abdoulaye</i>	<i>SECK</i>

報告書説明調査 :

在セネガル共和国日本大使館

大使 村田光平

書記官 久保雄嗣

在セネガル共和国青年海外協力隊事務所

調整員 月井芳文

隊員 浦和美恵

隊員 西津まり

保健省

官房長 Bandougou SYLLA

病院施設局

局長 Ibrahima FAYE

病院施設局

技術補佐官 Alain Le GARNEC

病院施設局

土木技師 Abdoul Hamid DIOUF

病院施設局

設備担当技師 Abdourahmane NDOYE

保守課長 Mayaline NDIAYE

計画省

計画技師 Mme Drame NDEYE

カオラック病院

病院長 Yaya Moustapha NDIAYE

仏経済協力 mission

参事官 Eric de La Moussaye

3. 収集資料リスト

1. Projet de VI Plan de Development Economique et Social : 1985/89 tome II,
1^{re} Partie : Secteur Primaire, MPC
2. Situation Sanitaire et Demographique : 1984/85, Division de la Statistique,
D.R.P.F., MSP
3. NATIONAL HEALTH POLICY : Feb. 1987, Ministry of Health
4. HOSPITAL REGIONAL KAOLACK 352 lits : Decembre 1983, MSP
——Cahier des prescriptions Techniques Particulières
——Descriptif
——Schémas du plan
5. PROJET DE REPONSE AU QUESTIONNAIRE DE LA MISSION JAPONAISE : Fevrier 1989,
RENOVATION DE L'HOPITAL DE KAOLACK, MSP
6. ELEMENTS SUR LES INTERNES ET STAGIAIRES SUSCETIBLES D'ETRE RECUS A L'HOSPITAL
DE KAOLACK : 13 JUN 1989, Direction des Formations Hospitalières, MSP
7. NOTE SUR LE BUDGET DU MINISTRY DE LA SANTE 1989/90 : 13 JUIN 1989, Direction
des Formations Hospitalières, MSP

JICA